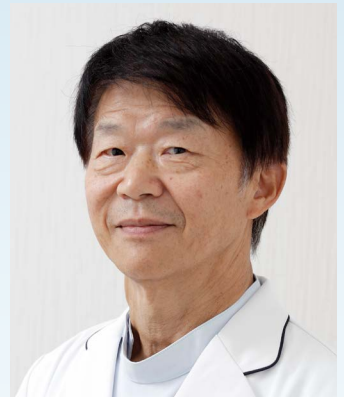




羅針盤

大原 國章
Kuniaki Ohara

赤坂虎の門クリニック皮膚科, Visual Dermatology 編集委員長



爪について

今月号は恒例のアトラスシリーズ, 爪を特集しました。爪は毛と同様に特殊に分化した皮膚であり, 硬いケラチンで構成されています。毛との違いは, 皮膚を貫いて空に向かって伸びるのではなく, 指先の皮膚に沿って水平方向に延びることです。

肉食獣の爪は獲物を捕らえて引き裂くために鋭く湾曲していますが, 人間の爪は物を摘まむために平坦であり, 肉食獣に比べて薄くて柔らかい特性があります。喧嘩の際に相手を引っ掻くために使われることはありますが, それは例外的な使用方法といえます。

爪が体表面積に占める割合は低く, 両手, 両足の爪をすべて合わせても 20 cm^2 を少し超える程度に過ぎませんし, 研究のために生検材料を採ることも困難です。それゆえ, 爪疾患の本態, 爪甲に表現される病態のメカニズムについての解明はあまり進んでいないと思います。今回の特集の項目立て, 疾患分類で悩んだ理由は, その点にあります。

異なった疾患であっても爪に現れる表現型(症状)は類似であったり, 同一疾患なのに, 病期, 症状の軽重によって違う顔を見せることがあります。そのために統一基準による分類は諦めて, 症状別と疾患(原因)別の2つの異なった分類が混在することになりました。

近年になり爪の専門書が増えてはきましたが, 爪の病

気を苦手とする方は少なくないと想像します。診断・治療に役立つものになるように多くの症例を選びました。責任編集者(大原)の専門とする腫瘍においては, 今までに馴染みのない onychopapilloma, onychomatricoma, onychocytic matricoma や爪の Bowen 病も取り上げています。過去の掲載誌から転用した写真もあり, 許諾いただいた原著者に感謝いたします。

爪の美容(ネイル)が盛んになるにつれ, 一般社会でも爪に対する関心が高まっていますので, 皮膚の一部である爪についての知識は皮膚科医にとって必須といえます。



韓国 仁寺洞の骨董店で買った虎の爪のペンダント